



報道機関各位

## 次世代エネルギー導入を通じたまちづくりに関する薩摩川内市の取り組み

平成 24 年 4 月 16 日

薩摩川内市役所

### 【ポイント】

- 4月26日(木)午後2時より、市役所にて「薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会」(以下「委員会」)第1回会合を開催する。
- また、同日午前9時30分より、市役所にて「(仮称)薩摩川内市次世代エネルギー導入促進協議会」(以下「協議会」)設立発起団体による、設立会を開催する。

### 1. 経緯

- (1) 本市には、火力発電所(2基)及び原子力発電所(2基)が立地し、これまで長きに亘り基幹エネルギーの供給地としての役割を担ってきた。
- (2) 昨年3月の東日本大震災及び福島第1原子力発電所の事故を契機に、次世代エネルギーを通じたまちづくりを加速化させるべく、昨年10月に新エネルギー対策課を設置し、様々な取り組みを進めてきた。
- (3) 本年度、本市の持続的経済発展に向けビジョン及び行動計画を策定するに当たり、学識経験者、企業関係者、まちづくりの有識者等から構成される委員会を立ち上げ、本委員会にご審議を頂くこととした。今後、1～2カ月に1度の頻度で開催する。
- (4) また、官民が一体となって、ビジョン等で示された方向性に沿って具体的事業を実施していくため、設立発起団体により協議会を立ち上げることにした。

### 2. 委員会第1回会合の概要

- (1) 日時及び場所：平成24年4月26日(木)14時～(於：501会議室)
- (2) 委員構成(詳細は別紙1参照)：学識経験者、企業関係者、その他有識者計14名
- (3) 主な議題：
  - (ア) 委員長の選出
  - (イ) ビジョン及び行動計画の基本的考え方(詳細は別紙参考資料参照)
  - (ウ) 次世代エネルギーを活かしたまちづくりに関する自由討議
- (4) その他：
  - (ア) 会合は原則公開とする。
  - (イ) 委員会終了後、委員長による記者会見を行う。

### 3. 協議会の概要

- (1) 日時及び場所: 平成24年4月26日(木)9時30分～(於:501会議室)
- (2) 設立発起団体: 別紙2参照
- (3) 主な議題: 役員選出及び今後のスケジュール等の確認。
- (4) その他: 会合は原則公開とする。

### 4. 参考

- (1) ビジョン及び行動計画について
  - (ア) ビジョンとは、本市が将来に亘り取り組むべき方向性及び重点分野(例:企業誘致、産学官連携、コミュニティの安心・安全確保、農業の競争力強化、観光振興)を示すもの。
  - (イ) 行動計画とは、上記ビジョンを踏まえ、本市及び関係機関が一体となって取り組むべき事業等を記載するもの。本市が抱える課題解決につながる取り組みや、「薩摩川内市版スマートコミュニティ」の確立に向けた取り組みも盛り込むこととする。
  - (ウ) また、3月議会で承認された「次世代エネルギー推進基金」も適宜活用する。
- (2) 協議会について
  - (ア) 協議会とは、本市と関係機関が一体となって、次世代エネルギー導入の具体的取り組みを進めるために立ち上げるもの(ビジョン策定委員会とは別組織。)
  - (イ) 諸準備が整い次第、地元企業等に参加を募る予定。

問合先: 薩摩川内市役所新エネルギー対策課(担当: 向野(こうの)陽一郎、久保信治) 電話: 0996-23-5111(内線: 5500)、メール: sin-ene@city.satsumasendai.lg.jp
--

以上

薩摩川内市次世代エネルギービジョン策定委員会委員

平成 24 年 4 月 16 日

薩摩川内市役所

1. 荒木 貞夫 荒木商事株式会社 代表取締役会長
  2. 上 蘭 真歩 南日本ガス株式会社 代表取締役社長
  3. 柏木 孝夫 国立大学法人 東京工業大学 特命教授
  4. 金沢 篤宜 富士通株式会社 鹿児島支店長
  5. 北川 信彦 京セラ株式会社 鹿児島川内工場長
  6. 坂口 盛一 九州電力株式会社 上席執行役員 経営企画本部長
  7. 三本 釈世 Woman 創 ing 会長
  8. 住吉 文夫 国立大学法人 鹿児島大学 工学部長
  9. 田中 陽一郎 公益社団法人日本青年会議所 鹿児島ブロック協議会会長
  10. 永山 在紀 南国殖産株式会社 代表取締役社長
  11. 野間口 有 独立行政法人 産業技術総合研究所 理事長
  12. 古川 治次 郵便局株式会社 代表取締役会長
  13. 葦 迫 利郎 中越パルプ工業株式会社 川内工場長
  14. 吉満 祐市 株式会社 吉満組 取締役副会長
- (オブザーバー)
1. 田上 哲也 九州経済産業局 資源エネルギー環境部 電源開発調整官
  2. 寶満 康徳 鹿児島県 環境林務部 地球温暖化対策課長

以上

(仮称) 薩摩川内市次世代エネルギー導入促進協議会設立発起団体

平成 24 年 4 月 16 日

薩摩川内市役所

1. 薩摩川内市
2. 川内商工会議所
3. 薩摩川内市商工会
4. 九州電力株式会社
5. 京セラ株式会社 鹿児島川内工場
6. 中越パルプ工業株式会社 川内工場
7. 富士通株式会社
8. 三菱重工業株式会社
9. 三菱電機株式会社

以上

# 薩摩川内市の持続的経済発展に向けたアプローチ(イメージ)

- 持続的経済発展に向け、**次世代エネルギービジョンや行動計画を踏まえた事業を実施。**
- 官民一体となった取り組みを進めるため、**次世代エネルギー導入促進協議会を設立。**

## ★次世代エネルギービジョン

長期的視点に立って、次世代エネルギーを活用したまちづくりを進めるための方向性や重点分野(例:企業誘致、産学官連携、コミュニティの安心・安全確保)を提示。

## ★行動計画

ビジョンを踏まえ、エネルギーの供給、需要の両面で取り組むべき事業等を提示。

## 本市の現状と課題 整理

- ★現状に関し、例えば以下の情報を共有。
  - 人口、産業構成
  - 次世代エネ賦存量

## 次世代エネルギー ビジョン策定

- ★ビジョン策定委員会の設置。
- ★既存施策との連動。
- ★関係機関等に対する積極周知。

## 行動計画策定と 具体的事業実施

- ★想定される出口は以下のとおり。
  - 薩摩川内版スマートコミュニティの実現
  - 本市の抱える課題解決方策の提示

- ★協議会主導で事業を実施。
- ★事業の円滑実施に向け基金の活用も検討。
- ★関係機関等に対する積極周知。

## 様々な活力創出

## 本市の持続的経済発展

- ★地域力再生
- ★交流活力創出
- ★都市力創出